

行ってこーわい! 愛媛の健診



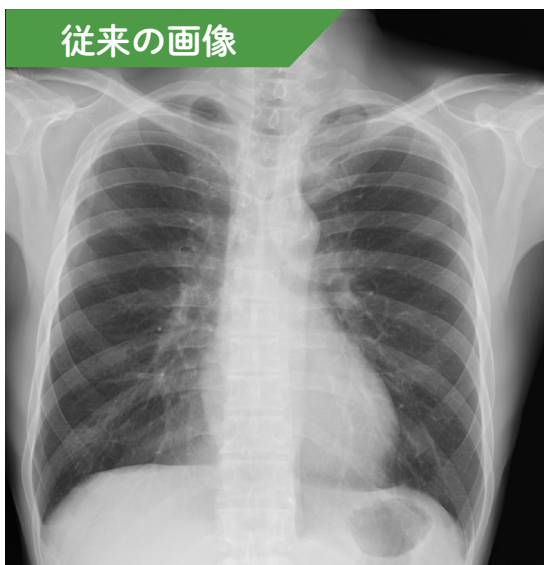
肺がん検診 早期発見の新技术ご紹介

検診車で **世界初**「エネルギーサブトラクション」技術搭載

エネルギーサブトラクション(エネサブ)とは

- 1 肺がん検診で 撮影される**骨を除去**する画像技術
- 2 骨が除去できるから 肋骨に重なる**小さな病変発見**に繋がる

従来の画像



エネサブ画像



肋骨で隠れていたのが
分かりますか?

がん発見率
30%向上



公益財団法人
愛媛県総合保健協会

詳細は裏面へ



エネサブはここがすごい！

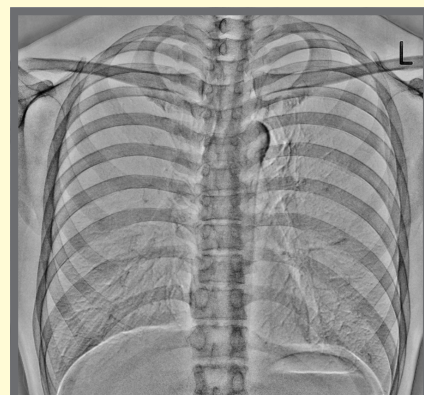
エネサブ検診は、CTよりも**簡便**で、
従来の胸部X線よりも**精度が高い**肺がん検診です。



通常の画像



骨の除去画像



骨の強調画像

POINT

1

従来と同じ1回の撮影で**3枚の画像を生成**

病変(軟部)発見と、骨陰影(骨)の判別が容易

2

簡便で被ばく線量が少ない

従来と撮影時間、被ばく線量は同等

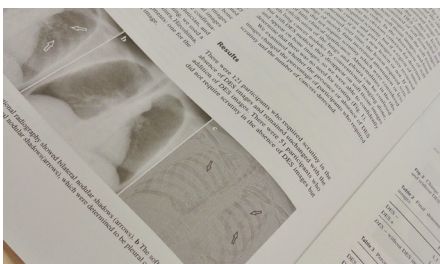
3

肺がんの発見率が30%向上

※当協会で肺がん検診を受診された、愛媛県住民13,315人(男5,801・女7,514)を対象としたデータ

肺がんは、発見と治療が難しい病気です

1年6か月をかけた研究により、エネサブ検診は従来の検診に比べて、肺がん発見率が30%向上し、しかもその多くは、治ゆが期待できる**早期がん**という、驚くべき結果がわかりました！
研究の詳細は、論文にて高い検査精度が**世界的に評価**されています。



著者名、論文、雑誌名

Mogami H, Onoike Y, Kawakami T, et al.
Lung cancer screening by single-shot
dual-energy subtraction using flat-panel
detector. Jpn J Radiol. 2021. 39:1168-1173